

【博士課程前期課程】

・看護学領域

神戸大学大学院のカリキュラム・ポリシーにもとづき、保健学研究科看護学領域は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身に付けさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として保健学研究共通特講Ⅰ～Ⅳ、国際実践特講Ⅰ、国際実践フィールドワークⅠ及びその他必要と認める科目を開設する。さらに一部の科目は、英語での講義としている。
2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の専門科目を開設する。さらに、助産師コース、家族支援専門看護師コースを開設する。
 - ・Evidence based nursing を基盤とした深い学識と高度実践能力を身につけることができるよう、保健学研究共通特講Ⅰ～Ⅳなどの全領域共通科目、看護教育特講Ⅰなどの看護学領域共通科目及びその他必要と認める科目を開設する。
 - ・スペシャリストとして、直面する問題を多角的に分析し、解決する能力を身につけることができるよう、実践看護学科目、療養支援看護学科目、老年看護学科目、精神看護学科目、家族看護学科目、母性看護学科目及びその他必要と認める科目を開設する。
 - ・専門領域を超え、医療保健福祉チームの一員として協働して働くことができる能力を身につけることができるよう、国際実践フィールドワークⅠ、IPW 特講Ⅰなどの全領域共通科目、看護コンサルテーション特講Ⅰなどの看護学領域共通科目及びその他必要と認める科目を開設する。
 - ・看護の役割拡大に適応できる深い学識と卓越した専門的能力を身につけることができるよう、上級臨床薬理学、上級病態生理学、上級フィジカルアセスメント学などのCNS課程科目、高度実践助産技術学演習などの助産師コース科目及びその他必要と認める科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・演習・実験・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習・実験・実習及び実技科目については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

カリキュラム・マップ

別表に示すとおりである。

・病態解析学領域

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、保健学研究科病態解析学領域は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」および保健学研究科共通の「専門性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、別表に示す科目、及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、分野特有の「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の専門科目を開設するとともに修士論文に係る研究指導を行う。
 - ・それぞれの職業や学問分野において、深い学識と卓越した専門的能力を備え、さらに、専門領域を超え、医療保健福祉チームの一員として協働して働くことができる能力を身につけられることができるよう、別表に示す科目、及びその他必要と認める授業科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・演習・実験・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習・実験・実習及び実技科目については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

カリキュラム・マップ

別表に示すとおりである。

・リハビリテーション科学領域

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、保健学研究科リハビリテーション科学領域は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、領域共通科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、生体構造分野科目、運動器障害学分野科目、脳機能・精神障害リハビリテーション分野科目、健康情報科学分野科目の各専門科目を開設する。
 - ・リハビリテーション科学において、深い学識と卓越した専門的研究能力を備える。さらに、専門領域を超え、人々の健康を守り行動するチームの一員として協働できる能力を身につけることができるよう領域共通科目、各分野専門分野特講Ⅰおよび演習Ⅰなどを開設する。

なお、これらの科目は、講義・実技・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習・実験・実習及び実技科目については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

カリキュラム・マップ

別表に示すとおりである。

・パブリックヘルス領域

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、神戸大学大学院保健学研究科パブリックヘルス領域は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、全領域共通科目、領域共通科目及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、以下のパブリックヘルス領域の専門科目を開設する。
 - ・科学的思考力と倫理観に根ざす地域保健の実践を展開できる能力を身につけることができるよう、保健学研究共通特講Ⅰなどの全領域共通科目、地域保健学実習Ⅰなどの領域共通科目、地域保健実践学特講Ⅰ、生活習慣病・予防治療学特講Ⅰを開設する。（保健師コースは上記科目に加えて、公衆衛生看護学特講などの講義科目、個別支援論演習などの演習科目、公衆衛生看護学実習などの実習科目、公衆衛生看護学特別研究を開設する）
 - ・科学的思考力と倫理観に根ざす国際保健の実践を展開できる能力を身につけることができるよう、国際実践フィールドワークⅠ、感染症学特講Ⅰ、災害マネジメント論演習Ⅰなどの領域共通科目を開設する。
 - ・地域保健に従事する上で必要な高い学識・技術・応用力を備え研究活動を行う能力を身につけることができるよう、保健学研究共通特講Ⅳなどの全領域共通科目、地域保健・健康科学特別研究Ⅰなどの領域共通科目、地域保健実践学特講Ⅰ、生活習慣病・予防治療学特講Ⅰを開設する。（保健師コースは上記科目に加えて、疫学特講などの講義科目、地域看護診断演習などの演習科目、公衆衛生看護学実習などの実習科目、公衆衛生看護学特別研究を開設する）
 - ・国際保健に従事する上で必要な高い学識・技術・応用力を備え研究活動を行う能力を身につけることができるよう、保健学研究共通特講Ⅳ、国際実践特講Ⅰなどの全領域

共通科目、国際保健学特別研究Ⅰ、国際感染症対策特別研究Ⅰの科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・演習・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習・実験・実習及び実技科目については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

カリキュラム・マップ

別表に示すとおりである。

【博士課程後期課程】

・看護学領域

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、保健学研究科看護学領域は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身に付けさせるため、すべての学生が履修する全領域共通科目として医療保健統計学・疫学特講Ⅱ、保健学研究共通特講Ⅶ、国際実践特講Ⅱ及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の専門科目を開設する。
 - ・専門領域を超え、医療保健福祉チームと協働するための指導的役割を果たす能力を身につけることができるよう、医療保健統計学・疫学特講Ⅱなどの全領域共通科目及びその他必要と認める科目を開設する。
 - ・最先端のエビデンスを創造するための先駆的な研究能力を身につけることができるよう、看護学特別研究Ⅱを開設する。
 - ・看護の役割拡大に適応できる深い学識と卓越した専門的能力を身につけることができるよう、実践看護学科目、療養支援看護学科目、老年看護学科目、精神看護学科目、家族看護学科目、母性看護学科目を開設する。
 - ・看護界を牽引し、次世代の看護専門職者を養成するための教育能力を身につけることができるよう、実践看護学特講Ⅱ、療養支援看護学特講Ⅱなどの看護学領域共通科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・演習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習及び実験科目については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

カリキュラム・マップ

別表に示すとおりである。

・病態解析学領域

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、保健学研究科病態解析学領域は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」および保健学研究科共通の「専門性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として別表に示す科目、及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、分野特有の高度な「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の専門科目を開設するとともに博士論文に係る研究指導を行う。
 - ・それぞれの職業や学問分野において指導的役割を担えるように、深い学識と高度で卓越した専門的能力を備え、さらに、専門領域を超え、医療保健福祉チームの一員として協働して働くことができる能力を身につけることができるよう別表に示す科目、及びその他必要と認める授業科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・演習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせて行う。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習及び実験科目については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

カリキュラム・マップ

別表に示すとおりである。

・リハビリテーション科学領域

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、保健学研究科リハビリテーション科学領域は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、領域共通科目を開設する。

2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、生体構造分野科目、運動器障害学分野科目、脳機能・精神障害リハビリテーション分野科目、健康情報科学分野科目の各専門科目を開設する。

- ・リハビリテーション科学において、これまでに修得した分析能力、問題解決能力、研究能力をさらに高度化し、創造的・開発的研究を通して、指導的役割を担えるように、深い学識と高度で卓越した専門的能力を備える。研究・教育・健康・地域医療を柱とする新しい総合保健医療を独創的かつ自立して創造・実践できる能力を身につけることができるよう領域共通科目、各分野専門分野特講Ⅱおよび演習Ⅱなどを開設する。

なお、これらの科目は、講義・演習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習及び実験科目については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

カリキュラム・マップ

別表に示すとおりである。

・パブリックヘルス領域

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、神戸大学大学院保健学研究科パブリックヘルス領域は、以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、全領域共通科目、領域共通科目及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、以下のパブリックヘルス領域の専門科目を開設する。
 - ・科学的思考力と高い倫理観に根ざし、高度で卓越した地域保健の実践を展開できる能力を身につけることができるよう医療保健統計学・疫学特講Ⅱなどの全領域共通科目、地域実践活動特別演習Ⅱなどの領域共通科目、生活習慣病・予防治療学特講Ⅱ、地域保健実践学特講Ⅱを開設する。
 - ・科学的思考力と高い倫理観に根ざし、高度で卓越した国際保健の実践を展開できる能力を身につけることができるよう医療保健統計学・疫学特講Ⅱ、国際実践フィールドワークⅡなどの全領域共通科目、災害マネジメント論演習Ⅱ、感染症論演習Ⅱなどの科目を開設する。

- ・地域保健学の学問体系の確立と発展に寄与し、学際的研究を積極的に推進する能力を身につけることができるよう全領域共通科目、地域保健・健康科学特別研究Ⅱなどの領域共通科目、生活習慣病・予防治療学特講Ⅱ、地域保健実践学特講Ⅱを開設する。
- ・国際保健学の学問体系の確立と発展に寄与し、学際的研究を積極的に推進する能力を身につけることができるよう、国際実践特講Ⅱなどの全領域共通科目フィールドワーク演習Ⅱなどの領域共通科目を国際保健学特別研究Ⅱ、国際保健フィールドワーク特別研究Ⅱなどの科目を開設する。
- ・地域保健に関する諸課題を科学的・論理的に分析し社会に発信する能力を身につけることができるよう保健学研究共通特講Ⅶなどの全領域共通科目、ヘルスプロモーション学特講Ⅱなどの領域共通科目、生活習慣病・予防治療学特講Ⅱ、地域保健実践学特講Ⅱを開設する。
- ・国際保健に関する諸課題を科学的・論理的に分析し社会に発信する能力を身につけることができるよう、保健学研究共通特講Ⅶなどの全領域共通科目、感染症学特講Ⅱ、保健医療論演習Ⅱなどの科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・演習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習及び実験科目については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

カリキュラム・マップ

別表に示すとおりである。

カリキュラム・ポリシー

保健学研究科博士課程前期課程 看護学領域

保健学研究科では、本研究科のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のとおり体系的な教育課程の編成を行っている。

部局DPにおける学習目標		1年次		2年次		
		前期	後期	前期	後期	
人間性	豊かな教養と高い倫理性を身につけ、知性、理性及び感性が調和し、自立した看護専門職者として、人々の健康を守るために行動できる能力	保健学研究共通特講Ⅰ	保健学研究共通特講Ⅲ	家族看護学基盤実習 *CNS	家族看護学展開実習 *CNS	
		看護教育特講Ⅰ *CNS	看護管理特講Ⅰ *CNS	実践看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	実践看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	
		看護研究特講Ⅰ *CNS	看護コンサルテーション特講Ⅰ *CNS	療養支援看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	療養支援看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	
		実践看護学特講Ⅰ ※ICHS	実践看護学演習Ⅰ ※ICHS	老年看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	老年看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	
		実践看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	療養支援看護学演習Ⅰ	精神看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	精神看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	
		療養支援看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	老年看護学演習Ⅰ ※ICHS	母性看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	母性看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	
		老年看護学特講Ⅰ ※ICHS	家族インターベンション学 *CNS	助産学特別研究	助産学特別研究	
		老年看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	精神看護学演習Ⅰ ※ICHS	地域母子保健特講Ⅰ *助産師		
		精神看護学特講Ⅰ ※ICHS	実践家族看護学 *CNS	地域母子保健特講Ⅱ *助産師		
		精神看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	実践家族看護学演習 *CNS			
		家族看護学特講Ⅰ ※ICHS	母性看護学演習Ⅰ			
		家族環境学 *CNS	実践看護学特別研究Ⅰ ※ICHS			
		理論家族看護学 *CNS	療養支援看護学特別研究Ⅰ ※ICHS			
		家族症候学 *CNS	老年看護学特別研究Ⅰ ※ICHS			
		母性看護学特講Ⅰ	精神看護学特別研究Ⅰ ※ICHS			
		母性看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	母性看護学特別研究Ⅰ ※ICHS			
		助産学特別研究	看護倫理特講Ⅰ *CNS			
		創造助産学概論 *助産師	助産学特別研究			
生涯女性健康科学特講 *助産師	がん看護学演習Ⅰ					
がん看護学特講Ⅰ						
創造性	伝統的な思考や方法を真摯に学ぶとともに、これらの知識を批判的に継承し、受け継いだ思考や方法の中に新たな課題を発見して創造的に解決できる能力	実践看護学特講Ⅰ ※ICHS	保健学研究共通特講Ⅲ	実践看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	実践看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	
		実践看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	実践看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	療養支援看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	療養支援看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	
		療養支援看護学特講Ⅰ	療養支援看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	老年看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	老年看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	
		療養支援看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	老年看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	精神看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	精神看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	
		老年看護学特講Ⅰ ※ICHS	精神看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	家族看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	家族看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	
		老年看護学特別研究Ⅰ ※ICHS				
		精神看護学特講Ⅰ ※ICHS	家族看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	母性看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	母性看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	
		精神看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	母性看護学特別研究Ⅰ ※ICHS	助産学特別研究	助産学特別研究	
		家族看護学特講Ⅰ ※ICHS	助産学特別研究			
		家族看護学特別研究Ⅰ ※ICHS				
		母性看護学特講Ⅰ				
		母性看護学特別研究Ⅰ ※ICHS				
		助産学特別研究				
		サイエンティフィック・イングリッシュ特講Ⅰ				
		メディカルデータサイエンス特講Ⅰ				
		がん看護学特講Ⅰ	がん看護学演習Ⅰ			
		問題意識をもち、現場を改革するための看護実践方法を開発する能力	実践家族看護学研究 *CNS	実践家族看護学研究 *CNS	実践家族看護学研究 *CNS	実践家族看護学研究 *CNS
			創造助産学概論 *助産師	看護コンサルテーション特講Ⅰ *CNS	助産管理学特講 *助産師	
看護研究特講Ⅰ *CNS	看護倫理特講Ⅰ *CNS					
国際実践特講Ⅰ ※ICHS	実践看護学演習Ⅰ ※ICHS					
	療養支援看護学演習Ⅰ					
	老年看護学演習Ⅰ ※ICHS					
	精神看護学演習Ⅰ ※ICHS					
	家族看護学演習Ⅰ ※ICHS					
	母性看護学演習Ⅰ					

部局DPにおける学習目標		1年次		2年次	
		前期	後期	前期	後期
国際性	多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努め、優れたコミュニケーションを図る能力	実践看護学特講 I ※ICHS	看護管理特講 I *CNS	トランス文化家族看護学 *CNS ※ICHS	
		老年看護学特講 I ※ICHS	看護コンサルテーション特講 I *CNS		
		精神看護学特講 I ※ICHS	母性看護学演習 I		
		家族看護学特講 I ※ICHS	老年看護学演習 I ※ICHS		
			IPW特講 I ※ICHS		
	国際的な視点から、各々の地域の状況に最も相応しい形で知識・技術を創造し、国際社会へ発信できる能力	国際実践フィールドワーク I ※ICHS	国際実践フィールドワーク I ※ICHS	家族看護学特別研究 I ※ICHS	家族看護学特別研究 I ※ICHS
		老年看護学特別研究 I ※ICHS	老年看護学特別研究 I ※ICHS	老年看護学特別研究 I ※ICHS	老年看護学特別研究 I ※ICHS
		家族看護学特別研究 I ※ICHS	家族看護学特別研究 I ※ICHS	母性看護学特別研究 I ※ICHS	母性看護学特別研究 I ※ICHS
		母性看護学特別研究 I ※ICHS	母性看護学特別研究 I ※ICHS	地域母子保健特講 I *助産師	
		創造助産学概論 *助産師			
看護学分野の人材として、国際社会で活躍できる能力	国際実践特講 I ※ICHS	IPW特講 I ※ICHS			
	サイエンティフィック・イングリッシュ特講 I メディカルデータサイエンス特講 I				
専門性	Evidence based nursingを基盤とした深い学識と高度実践能力	国際実践特講 I ※ICHS	家族看護学基盤実習 *CNS	こども保育期・教育期家族看護学 *CNS	
		保健学研究共通特講 I			
		保健学研究共通特講IV			
		看護教育特講 I *CNS	保健学研究共通特講 II		
		看護研究特講 I *CNS	保健学研究共通特講 III		
		理論家族看護学 *CNS			
		ハイリスク母性ケア論特講 *助産師	がん看護学演習 I		
	スペシャリストとして、直面する問題を多角的に分析し、解決する能力	家族環境学 *CNS	看護管理特講 I *CNS	家族看護学展開実習 *CNS	実践家族看護学研究 *CNS
		家族症候学 *CNS	老年看護学演習 I ※ICHS	助産管理学特講 *助産師	母性看護学特別研究 I ※ICHS
		療養支援看護学特講 I	実践家族看護学 *CNS	助産学実習 III *助産師	実践看護学特別研究 I ※ICHS
		母性看護学特講 I	実践家族看護学演習 *CNS	助産学実習 IV *助産師	療養支援看護学特別研究 I ※ICHS
		ハイリスク母性ケア論特講 *助産師	母性看護学演習 I	母性看護学特別研究 I ※ICHS	老年看護学特別研究 I ※ICHS
		創造助産学概論 *助産師	生涯女性健康科学演習 *助産師	実践看護学特別研究 I ※ICHS	精神看護学特別研究 I ※ICHS
		生涯女性健康科学特講 *助産師	助産学実習 I *助産師	療養支援看護学特別研究 I ※ICHS	家族看護学特別研究 I ※ICHS
		高度実践助産技術学特講 *助産師	助産学実習 II *助産師	老年看護学特別研究 I ※ICHS	
		高度周産期技術学特講 *助産師	母性看護学特別研究 I ※ICHS	精神看護学特別研究 I ※ICHS	
		母性看護学特別研究 I ※ICHS	実践看護学特別研究 I ※ICHS	家族看護学特別研究 I ※ICHS	
		実践看護学特別研究 I ※ICHS	療養支援看護学特別研究 I ※ICHS	助産学特別研究	
		療養支援看護学特別研究 I ※ICHS	老年看護学特別研究 I ※ICHS	実践家族看護学研究 *CNS	
		老年看護学特別研究 I ※ICHS	精神看護学特別研究 I ※ICHS	地域母子保健特講 I *助産師	
		精神看護学特別研究 I ※ICHS	家族看護学特別研究 I ※ICHS	地域母子保健特講 II *助産師	
		家族看護学特別研究 I ※ICHS	助産学特別研究		
	助産学特別研究	実践家族看護学研究 *CNS			
	実践家族看護学研究 *CNS				
	がん看護学特講 I				
	専門領域を超え、医療保健福祉チームの一員として協働して働くことができる能力	老年看護学特講 I	看護コンサルテーション特講 I *CNS	トランス文化家族看護学 *CNS ※ICHS	
		精神看護学特講 I ※ICHS	IPW特講 I ※ICHS	地域母子保健特講 II *助産師	
国際実践フィールドワーク I ※ICHS		家族インターベンション学 *CNS 国際実践フィールドワーク I ※ICHS			
看護の役割拡大に 適応できる深い学識と卓越した専門的能力	上級臨床薬理学 *CNSおよび*助産師	上級フィジカルアセスメント学 *CNS	助産学実習 III *助産師	家族看護学統合実習 *CNS	
	上級病態生理学 *CNSおよび*助産師		助産学実習 IV *助産師		
	サイエンティフィック・イングリッシュ特講 I		助産管理学特講 *助産師		
	メディカルデータサイエンス特講 I	高度実践助産技術学演習 *助産師			
	ハイリスク母性ケア論特講 *助産師	高度周産期技術学演習 *助産師			
	がん看護学特講 I	がん看護学演習 I			
腫瘍学 I	腫瘍学 II				

カリキュラム・ポリシー

保健学研究科博士課程前期課程 病態解析学領域

保健学研究科では、本研究科のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のとおり体系的な教育課程の編成を行っている。

部局D Pにおける学習目標		1年次		2年次	
		前期	後期	前期	後期
人間性	豊かな教養と高い倫理性を身につけ、知性、理性及び感性が調和し、自立した医療専門職者として、人々の健康を守るために行動できる能力	保健学研究共通特講Ⅰ	保健学研究共通特講Ⅲ	病態解析学特別研究Ⅰ	病態解析学特別研究Ⅰ
		細胞機能構造科学特講Ⅰ	IPW特講Ⅰ		
		病態代謝学特講Ⅰ	分析医科学演習Ⅰ		
		臨床免疫学特講Ⅰ	細胞機能構造科学演習Ⅰ		
		病態解析学特別研究Ⅰ	病態代謝学演習Ⅰ		
			臨床免疫学演習Ⅰ		
創造性	伝統的な思考や方法を真摯に学ぶとともに、これらの知識を批判的に継承し、受け継いだ思考や方法の中に新たな課題を発見して創造的に解決できる能力	国際実践特講Ⅰ	保健学研究共通特講Ⅲ	病態解析学特別研究Ⅰ	病態解析学特別研究Ⅰ
		サイエンティフィック・イングリッシュ特講Ⅰ	分析医科学演習Ⅰ		
		メディカルデータサイエンス特講Ⅰ	細胞機能構造科学演習Ⅰ		
		分析医科学特講Ⅰ	病態代謝学演習Ⅰ		
		細胞機能構造科学特講Ⅰ	臨床免疫学演習Ⅰ		
		病態代謝学特講Ⅰ	病態解析学特別研究Ⅰ		
		臨床免疫学特講Ⅰ	保健学研究共通特講Ⅱ		
		病態解析学特別研究Ⅰ	保健学研究共通特講Ⅲ		
国際性	多様な価値観を尊重し、異文化の理解に努め、コミュニケーション能力を発揮できる。国際的に普遍的な価値を持つ知識・技術を自ら創造するとともに、各々の地域の状況に相応しい形で適用することができる能力	国際実践フィールドワークⅠ	国際実践フィールドワークⅠ	病態解析学特別研究Ⅰ	病態解析学特別研究Ⅰ
		国際実践特講Ⅰ	分析医科学演習Ⅰ		
		サイエンティフィック・イングリッシュ特講Ⅰ	細胞機能構造科学演習Ⅰ		
		メディカルデータサイエンス特講Ⅰ	病態代謝学演習Ⅰ		
		Advanced lectures in lifestyle related diseasesⅠ	臨床免疫学演習Ⅰ		
		分析医科学特講Ⅰ	病態解析学特別研究Ⅰ		
		細胞機能構造科学特講Ⅰ	保健学研究共通特講Ⅱ		
		病態代謝学特講Ⅰ	Advanced practice in lifestyle related diseasesⅠ		
		臨床免疫学特講Ⅰ			
		病態解析学特別研究Ⅰ			
専門性	それぞれの職業や学問分野において、深い学識と専門的能力を備え、さらに、専門領域を超え、医療保健福祉チームの一員として協働して働くことができる能力	国際実践特講Ⅰ	保健学研究共通特講Ⅲ	病態解析学特別研究Ⅰ	病態解析学特別研究Ⅰ
		保健学研究共通特講Ⅰ	IPW特講Ⅰ		
		保健学研究共通特講Ⅳ	分析医科学演習Ⅰ		
		サイエンティフィック・イングリッシュ特講Ⅰ	細胞機能構造科学演習Ⅰ		
		メディカルデータサイエンス特講Ⅰ	病態代謝学演習Ⅰ		
		分析医科学特講Ⅰ	臨床免疫学演習Ⅰ		
		細胞機能構造科学特講Ⅰ	病態解析学特別研究Ⅰ		
		病態代謝学特講Ⅰ			
		臨床免疫学特講Ⅰ			
		病態解析学特別研究Ⅰ			

カリキュラム・ポリシー

保健学研究科博士課程前期課程 リハビリテーション科学領域

保健学研究科では、本研究科のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のとおり体系的な教育課程の編成を行っている。

部局DPにおける学習目標		1年次		2年次	
		前期	後期	前期	後期
人間性	豊かな教養と高い倫理性を身につけ、知性、理性及び感性が調和し、人々の健康を守るために行動できる能力	保健学研究共通特講Ⅰ	保健学研究共通特講Ⅲ	生体構造・機能解析学特別研究Ⅰ	生体構造・機能解析学特別研究Ⅰ
		リハビリテーション科学総合実習（１）Ⅰ	リハビリテーション科学総合実習（２）Ⅰ	運動機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ	運動機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ
		リハビリテーション科学専門領域実習Ⅰ	リハビリテーション科学専門領域実習Ⅰ	作業障害解析・補完学特別研究Ⅰ	作業障害解析・補完学特別研究Ⅰ
		リハビリテーション管理学特講Ⅰ		脳機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ	脳機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ
創造性	伝統的な思考や方法を真摯に学ぶとともに、これらの知識を批判的に継承し、受け継いだ思考や方法の中に新たな課題を発見して創造的に解決できる能力	国際実践特講Ⅰ	保健学研究共通特講Ⅱ	生体構造・機能解析学特別研究Ⅰ	生体構造・機能解析学特別研究Ⅰ
		リハビリテーション管理学特講Ⅰ	保健学研究共通特講Ⅲ	運動機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ	運動機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ
		サイエンティフィック・イングリッシュ特講Ⅰ	生体構造・機能解析学演習Ⅰ	作業障害解析・補完学特別研究Ⅰ	作業障害解析・補完学特別研究Ⅰ
		メディカルデータサイエンス特講Ⅰ	作業障害解析・補完学演習Ⅰ	脳機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ	脳機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ
		生体構造・機能解析学特講Ⅰ	運動機能障害リハビリテーション学演習Ⅰ	精神障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ	精神障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ
		運動機能障害リハビリテーション学特講Ⅰ	脳機能障害リハビリテーション学演習Ⅰ		
		作業障害解析・補完学特講Ⅰ	精神障害リハビリテーション学演習Ⅰ		
		脳機能障害リハビリテーション学特講Ⅰ	生体構造・機能解析学特別研究Ⅰ		
		精神障害リハビリテーション学特講Ⅰ	運動機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ		
		生体構造・機能解析学特別研究Ⅰ	作業障害解析・補完学特別研究Ⅰ		
		運動機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ	脳機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ		
		作業障害解析・補完学特別研究Ⅰ	精神障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ		
		脳機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ			
精神障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ					
国際性	多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努める優れたコミュニケーション能力を発揮し、国際的に普遍的な価値を持つ知識・技術を自ら創造するとともに、各々の地域の状況に最も相応しい形で適用することができる能力	国際実践フィールドワークⅠ	国際実践フィールドワークⅠ	生体構造・機能解析学特別研究Ⅰ	生体構造・機能解析学特別研究Ⅰ
		国際実践特講Ⅰ	生体構造・機能解析学演習Ⅰ	運動機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ	運動機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ
		サイエンティフィック・イングリッシュ特講Ⅰ	運動機能障害リハビリテーション学演習Ⅰ	作業障害解析・補完学特別研究Ⅰ	作業障害解析・補完学特別研究Ⅰ
		メディカルデータサイエンス特講Ⅰ	作業障害解析・補完学演習Ⅰ	脳機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ	脳機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ
		生体構造・機能解析学特講Ⅰ	脳機能障害リハビリテーション学演習Ⅰ	精神障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ	精神障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ
		運動機能障害リハビリテーション学特講Ⅰ	精神障害リハビリテーション学演習Ⅰ		
		作業障害解析・補完学特講Ⅰ	生体構造・機能解析学特別研究Ⅰ		
		脳機能障害リハビリテーション学特講Ⅰ	運動機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ		
		精神障害リハビリテーション学特講Ⅰ	作業障害解析・補完学特別研究Ⅰ		
		生体構造・機能解析学特別研究Ⅰ	脳機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ		
		運動機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ	精神障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ		
		作業障害解析・補完学特別研究Ⅰ			
		脳機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ			
精神障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ					
専門性	リハビリテーション科学において、深い学識と卓越した専門的研究能力を備える。さらに、専門領域を超え、人々の健康を守り行動するチームの一員として協働できる能力	国際実践特講Ⅰ	国際実践特講Ⅰ	生体構造・機能解析学特別研究Ⅰ	生体構造・機能解析学特別研究Ⅰ
		保健学研究共通特講Ⅰ	IPW特講Ⅰ	運動機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ	運動機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ
		保健学研究共通特講Ⅳ	リハビリテーション科学研究法演習Ⅰ	作業障害解析・補完学特別研究Ⅰ	作業障害解析・補完学特別研究Ⅰ
		サイエンティフィック・イングリッシュ特講Ⅰ	生体構造・機能解析学演習Ⅰ	脳機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ	脳機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ
		メディカルデータサイエンス特講Ⅰ	運動機能障害リハビリテーション学演習Ⅰ	精神障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ	精神障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ
		リハビリテーション科学研究法特講Ⅰ	作業障害解析・補完学演習Ⅰ	健康情報科学特別研究Ⅰ	健康情報科学特別研究Ⅰ
		生体構造・機能解析学特講Ⅰ	脳機能障害リハビリテーション学演習Ⅰ		
		運動機能障害リハビリテーション学特講Ⅰ	精神障害リハビリテーション学演習Ⅰ		
		作業障害解析・補完学特講Ⅰ	生体構造・機能解析学特別研究Ⅰ		
		脳機能障害リハビリテーション学特講Ⅰ	運動機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ		
		精神障害リハビリテーション学特講Ⅰ	作業障害解析・補完学特別研究Ⅰ		
		生体構造・機能解析学特別研究Ⅰ	脳機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ		
		運動機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ	精神障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ		
作業障害解析・補完学特別研究Ⅰ	生命情報融合論Ⅰ				
脳機能障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ	医用画像情報科学特論Ⅰ				
精神障害リハビリテーション学特別研究Ⅰ	健康情報科学特別研究Ⅰ				
人間情報科学特論Ⅰ					
健康情報科学特別研究Ⅰ					

カリキュラム・ポリシー

保健学研究科博士課程前期課程 パブリックヘルス領域

保健学研究科では、本研究科のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のとおり体系的な教育課程の編成を行っている。

部局DPにおける学習目標	1年次		2年次		
	前期	後期	前期	後期	
人間性	豊かな教養と高い倫理性を身につけた保健医療専門職者として自立できる能力	保健学研究共通特講 I	保健学研究共通特講Ⅲ	地域保健・健康科学特別研究 I	地域保健・健康科学特別研究 I
		地域保健実践学特講 I	地域実践活動特別演習 I	国際公衆衛生看護活動演習	国際公衆衛生看護活動演習
		生活習慣病・予防治療学特講 I	地域保健学実習 I	公衆衛生看護学実習 I (行政)	公衆衛生看護学実習 II (産業)
		ヘルスプロモーション学特講 I	地域保健・健康科学特別研究 I	公衆衛生看護学実習 II (産業)	公衆衛生看護管理実習
		地域保健・健康科学特別研究 I	産業保健特講	公衆衛生看護学特別研究	公衆衛生看護学特別研究
		疫学特講	公衆衛生看護管理特講	国際保健学特別研究 I	国際保健学特別研究 I
		公衆衛生学特講	健康危機管理特講	国際感染症対策特別研究 I	国際感染症対策特別研究 I
		保健統計学特講	保健医療福祉論演習		
		保健医療福祉論特講	学校保健特講		
		地域公共政策論特講	公衆衛生看護展開演習 I		
		医療経済論特講	公衆衛生看護展開演習 II		
		公衆衛生看護学特講	公衆衛生看護展開演習 III		
		社会健康論特講	公衆衛生看護展開演習 IV		
		個別支援論特講	公衆衛生看護学特別研究		
		組織活動論特講	国際保健支援論特講 I		
		健康教育論特講	国際保健フィールドワーク I		
		地域看護診断論特講	災害マネージメント論演習 I		
		公衆衛生看護展開演習 I	国際感染症対策特別研究 I		
		公衆衛生看護展開演習 II	国際保健学特別研究 I		
		公衆衛生看護展開演習 III			
		公衆衛生看護展開演習 IV			
		保健学研究共通特講 IV			
		公衆衛生看護学特別研究			
		人口学特講 I			
		医療人類学特講 I			
		国際保健支援論特講 I			
	国際保健フィールドワーク I				
	災害マネージメント論特講 I				
	国際保健研究方法論特講 I				
	国際実践特講 I				
	国際保健・災害医療学特講 I				
	国際感染症対策特別研究 I				
	国際保健学特別研究 I				
幅広く深い教養と総合的な判断力を持ち他分野の人々と協働して地域や国際社会の健康課題を解決する能力	地域保健・健康科学特別研究 I	IPW特講	地域保健・健康科学特別研究 I	地域保健・健康科学特別研究 I	
	公衆衛生看護学特別研究	地域保健・健康科学特別研究 I	公衆衛生看護学特別研究	公衆衛生看護学特別研究	
	国際感染症対策特別研究 I	公衆衛生看護学特別研究	国際感染症対策特別研究 I	国際感染症対策特別研究 I	
	国際保健学特別研究 I	国際感染症対策特別研究 I	国際保健学特別研究 I	国際保健学特別研究 I	
	国際保健学特別研究 I				
公衆衛生活動の理念、公衆衛生活動の実施に必要なコミュニケーションおよびマネージメント能力	地域保健・健康科学特別研究 I	IPW特講	地域保健・健康科学特別研究 I	地域保健・健康科学特別研究 I	
	公衆衛生看護学特別研究	地域保健・健康科学特別研究 I	公衆衛生看護学特別研究	公衆衛生看護学特別研究	
	国際感染症対策特別研究 I	公衆衛生看護学特別研究	国際感染症対策特別研究 I	国際感染症対策特別研究 I	
	国際保健学特別研究 I	国際感染症対策特別研究 I	国際保健学特別研究 I	国際保健学特別研究 I	
	災害マネージメント論特講 I	国際保健学特別研究 I			

部局D Pにおける学習目標		1年次		2年次	
		前期	後期	前期	後期
創造性	保健・医療・福祉の現場において地域の健康課題を創造的に解決する能力	サイエンティフィック・イングリッシュ特講 I	保健学研究共通特講Ⅲ	地域保健・健康科学特別研究 I	地域保健・健康科学特別研究 I
		メディカルデータサイエンス特講 I	保健学研究共通特講Ⅱ	国際公衆衛生看護活動演習	国際公衆衛生看護活動演習
		国際実践特講 I	地域保健学実習 I	公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政）	公衆衛生看護学実習Ⅱ（産業）
		保健学研究共通特講Ⅳ	地域保健・健康科学特別研究 I	公衆衛生看護学実習Ⅱ（産業）	公衆衛生看護管理実習
		ヘルスプロモーション学特講 I	疫学特講 I	公衆衛生看護学特別研究	公衆衛生看護学特別研究
		地域保健・健康科学特別研究 I	公衆衛生看護管理特講	国際保健学特別研究 I	国際保健学特別研究 I
		疫学特講	健康危機管理特講		
		公衆衛生学特講	保健医療福祉論演習		
		保健統計学特講	学校保健特講		
		地域公共政策論特講	公衆衛生看護展開演習Ⅰ		
		医療経済論特講	公衆衛生看護展開演習Ⅱ		
		保健医療福祉論特講	公衆衛生看護展開演習Ⅲ		
		公衆衛生看護学特講	公衆衛生看護展開演習Ⅳ		
		個別支援論特講	環境保健学特講 I		
		組織活動論特講	公衆衛生看護学特別研究		
		健康教育論特講	病理病態学演習Ⅰ		
		地域看護診断論特講	国際保健フィールドワークⅠ		
		公衆衛生看護展開演習Ⅰ	災害マネジメント論演習Ⅰ		
		公衆衛生看護展開演習Ⅱ	国際感染症対策特別研究Ⅰ		
		公衆衛生看護展開演習Ⅲ	国際保健学特別研究Ⅰ		
		公衆衛生看護展開演習Ⅳ	IPW特講		
		保健学研究共通特講Ⅳ			
		公衆衛生看護学特別研究			
		病理病態学特講Ⅰ			
		国際保健フィールドワークⅠ			
	国際保健・災害医療学特講Ⅰ				
	災害マネジメント論特講Ⅰ				
	国際感染症対策特別研究Ⅰ				
	国際保健学特別研究Ⅰ				
	地域社会を基盤とした医療・保健システムの開発と科学的根拠に基づいて新しく健康保持をデザインする能力	地域保健・健康科学特別研究Ⅰ	地域保健・健康科学特別研究Ⅰ	地域保健・健康科学特別研究Ⅰ	地域保健・健康科学特別研究Ⅰ
		公衆衛生看護学特別研究	公衆衛生看護学特別研究	公衆衛生看護学特別研究	公衆衛生看護学特別研究
		国際感染症対策特別研究Ⅰ	国際感染症対策特別研究Ⅰ	国際感染症対策特別研究Ⅰ	国際感染症対策特別研究Ⅰ
		国際保健学特別研究Ⅰ	国際保健学特別研究Ⅰ	国際保健学特別研究Ⅰ	国際保健学特別研究Ⅰ
専門知識・技術を基本として、国際保健の現場における課題を見出し、柔軟に対応できる能力	地域保健・健康科学特別研究Ⅰ	地域保健・健康科学特別研究Ⅰ	地域保健・健康科学特別研究Ⅰ	地域保健・健康科学特別研究Ⅰ	
	公衆衛生看護学特別研究	公衆衛生看護学特別研究	公衆衛生看護学特別研究	公衆衛生看護学特別研究	
	国際感染症対策特別研究Ⅰ	国際感染症対策特別研究Ⅰ	国際感染症対策特別研究Ⅰ	国際感染症対策特別研究Ⅰ	
	国際保健学特別研究Ⅰ	国際保健学特別研究Ⅰ	国際保健学特別研究Ⅰ	国際保健学特別研究Ⅰ	
	国際保健フィールドワークⅠ	国際保健フィールドワークⅠ	国際公衆衛生看護活動演習	国際公衆衛生看護活動演習	
	国際保健・災害医療学特講Ⅰ				

部局D Pにおける学習目標		1年次		2年次	
		前期	後期	前期	後期
専門性	科学的思考力と倫理観に根ざす地域保健及び国際保健の実践を展開できる能力	サイエンティフィック・イングリッシュ特講 I	保健学研究共通特講 II	地域保健・健康科学特別研究 I	地域保健・健康科学特別研究 I
		メディカルデータサイエンス特講 I	保健学研究共通特講 III	国際公衆衛生看護活動演習	国際公衆衛生看護活動演習
		国際実践特講 I	地域実践活動特別演習 I	公衆衛生看護学実習 I (行政)	公衆衛生看護学実習 II (産業)
		保健学研究共通特講 I	地域保健学実習 I	公衆衛生看護学実習 II (産業)	公衆衛生看護管理実習
		保健学研究共通特講 IV	産業保健特講	公衆衛生看護学特別研究	公衆衛生看護学特別研究
		地域保健実践学特講 I	公衆衛生看護管理特講	国際感染症対策特別研究 I	国際感染症対策特別研究 I
		生活習慣病・予防治療学特講 I	健康危機管理特講	国際保健学特別研究 I	国際保健学特別研究 I
		ヘルスプロモーション学特講 I	保健医療福祉論演習		
		地域保健・健康科学特別研究 I	学校保健特講		
		疫学特講	公衆衛生看護展開演習 I		
		公衆衛生学特講	公衆衛生看護展開演習 II		
		保健統計学特講	公衆衛生看護展開演習 III		
		保健医療福祉論特講	公衆衛生看護展開演習 IV		
		地域公共政策論特講	公衆衛生看護学特別研究		
		医療経済論特講	環境保健学特講 I		
		公衆衛生看護学特講	病理病態学演習 I		
		社会健康論	公衆衛生学演習 I		
		個別支援論特講	災害マネジメント論演習 I		
		組織活動論特講	寄生虫学演習 I		
		健康教育論特講	細菌学演習 I		
		地域看護診断論特講	ウイルス学演習 I		
		公衆衛生看護展開演習 I	保健医療論特講 I		
		公衆衛生看護展開演習 II	国際感染症対策特別研究 I		
		公衆衛生看護展開演習 III	国際保健学特別研究 I		
		公衆衛生看護展開演習 IV	疫学特講 I		
		人口学特講 I	IPW特講		
		医療人類学特講 I			
		公衆衛生看護学特別研究			
		保健学研究共通特講 IV			
		病理病態学特講 I			
	公衆衛生学特講 I				
	災害マネジメント論特講 I				
	感染症学特講 I				
国際実践特講 I					
国際保健研究方法論特講 I					
国際保健・災害医療学特講 I					
国際感染症対策特別研究 I					
国際保健学特別研究 I					
地域保健・健康科学特別研究 I	地域保健・健康科学特別研究 I	地域保健・健康科学特別研究 I	地域保健・健康科学特別研究 I		
公衆衛生看護学特別研究	公衆衛生看護学特別研究	公衆衛生看護学特別研究	公衆衛生看護学特別研究		
国際感染症対策特別研究 I	国際感染症対策特別研究 I	国際感染症対策特別研究 I	国際感染症対策特別研究 I		
国際保健学特別研究 I	国際保健学特別研究 I	国際保健学特別研究 I	国際保健学特別研究 I		

地域保健及び国際保健に従事する上で必要な高い学識・技術・応用力を備え研究活動を行う能力

カリキュラム・ポリシー

保健学研究科博士課程後期課程 看護学領域

保健学研究科では、本研究科のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のとおり体系的な教育課程の編成を行っている。

部局DPにおける学習目標	1年次		2年次		3年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人間性	豊かな教養と高い倫理性を身につけ、知性、理性及び感性が調和し、自立した看護専門職者として、人々の健康を守るために指導的役割を遂行できる能力 保健学研究共通特講V 実践看護学特講Ⅱ※ICHS 療養支援看護学特講Ⅱ※ICHS 老年看護学特講Ⅱ※ICHS 精神看護学特講Ⅱ※ICHS 家族看護学特講Ⅱ※ICHS 母性看護学特講Ⅱ 看護学特別研究Ⅱ※ICHS がん看護学特講Ⅱ	保健学研究共通特講Ⅶ 実践看護学演習Ⅱ※ICHS 療養支援看護学演習Ⅱ 老年看護学演習Ⅱ※ICHS 精神看護学演習Ⅱ※ICHS 家族看護学演習Ⅱ※ICHS 母性看護学演習Ⅱ 看護学特別研究Ⅱ※ICHS がん看護学演習Ⅱ	看護学特別研究Ⅱ※ICHS	看護学特別研究Ⅱ※ICHS	看護学特別研究Ⅱ※ICHS	看護学特別研究Ⅱ※ICHS
創造性	看護学の学術的基盤を発展させるために、グローバルスタンダードを踏まえ、看護学の深い知識や技術に裏付けされたイノベーションをもたらす能力 国際実践特講Ⅱ※ICHS 実践看護学特講Ⅱ※ICHS 療養支援看護学特講Ⅱ 老年看護学特講Ⅱ※ICHS 精神看護学特講Ⅱ※ICHS 家族看護学特講Ⅱ※ICHS 母性看護学特講Ⅱ 看護学特別研究Ⅱ※ICHS サイエンティフィック・イングリッシュ特講Ⅱ メディカルデータサイエンス特講Ⅱ がん看護学特講Ⅱ	保健学研究共通特講Ⅶ 実践看護学演習Ⅱ※ICHS 療養支援看護学演習Ⅱ 老年看護学演習Ⅱ※ICHS 精神看護学演習Ⅱ※ICHS 家族看護学演習Ⅱ※ICHS 母性看護学演習Ⅱ 看護学特別研究Ⅱ※ICHS がん看護学演習Ⅱ	看護学特別研究Ⅱ※ICHS	看護学特別研究Ⅱ※ICHS	看護学特別研究Ⅱ※ICHS	看護学特別研究Ⅱ※ICHS
国際性	多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努め、優れたコミュニケーションを通じて国際的な課題を解決する能力 国際実践フィールドワークⅡ※ICHS	国際実践フィールドワークⅡ※ICHS 保健学研究共通特講Ⅵ				
専門性	看護学分野の中核人材として、国際社会でリーダーシップを発揮できる能力 看護学特別研究Ⅱ※ICHS 家族看護学特講Ⅱ※ICHS 老年看護学特講Ⅱ※ICHS サイエンティフィック・イングリッシュ特講Ⅱ メディカルデータサイエンス特講Ⅱ	看護学特別研究Ⅱ※ICHS 老年看護学演習Ⅱ※ICHS 母性看護学演習Ⅱ	看護学特別研究Ⅱ※ICHS	看護学特別研究Ⅱ※ICHS	看護学特別研究Ⅱ※ICHS	看護学特別研究Ⅱ※ICHS
国際性	国際的に普遍的な価値をもつ知識・技術を自ら創造するとともに、各々の地域の状況に最も相応しい形で適用することができる能力 国際実践特講Ⅱ※ICHS					
専門性	専門領域を超え、医療保健福最先端のエビデンスを創造するための先駆的な看護の役割拡大に適応できる深い学識と卓越した専門的能力 国際実践特講Ⅱ※ICHS 医療保健統計学・疫学特講Ⅱ 看護学特別研究Ⅱ※ICHS 保健学研究共通特講V 保健学研究共通特講Ⅷ 実践看護学特講Ⅱ※ICHS 療養支援看護学特講Ⅱ 老年看護学特講Ⅱ※ICHS 精神看護学特講Ⅱ※ICHS 家族看護学特講Ⅱ※ICHS 母性看護学特講Ⅱ サイエンティフィック・イングリッシュ特講Ⅱ メディカルデータサイエンス特講Ⅱ がん看護学特講Ⅱ 腫瘍学Ⅲ	保健学研究共通特講Ⅶ 看護学特別研究Ⅱ※ICHS 保健学研究共通特講Ⅵ 実践看護学演習Ⅱ 療養支援看護学演習Ⅱ 老年看護学演習Ⅱ※ICHS 精神看護学演習Ⅱ※ICHS 家族看護学演習Ⅱ※ICHS 母性看護学演習Ⅱ がん看護学演習Ⅱ 腫瘍学Ⅳ	看護学特別研究Ⅱ※ICHS	看護学特別研究Ⅱ※ICHS	看護学特別研究Ⅱ※ICHS	看護学特別研究Ⅱ※ICHS
専門性	看護界を牽引し、次世代の看護専門職者を養成するための教育能力 実践看護学特講Ⅱ※ICHS 療養支援看護学特講Ⅱ 老年看護学特講Ⅱ※ICHS 精神看護学特講Ⅱ※ICHS 家族看護学特講Ⅱ※ICHS 母性看護学特講Ⅱ	実践看護学演習Ⅱ※ICHS 療養支援看護学演習Ⅱ 老年看護学演習Ⅱ※ICHS 精神看護学演習Ⅱ※ICHS 家族看護学演習Ⅱ※ICHS 母性看護学演習Ⅱ				

カリキュラム・ポリシー

保健学研究科博士課程後期課程 病態解析学領域

保健学研究科では、本研究科のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のとおり体系的な教育課程の編成を行っている。

部局DPにおける学習目標		1年次		2年次		3年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
人間性	豊かな教養と高い倫理性を身につけ、知性、理性及び感性が調和し、自立した医療専門職者として、人々の健康を守るために行動できる能力	分析医科学特講Ⅱ	保健学研究共通特講Ⅶ	病態解析学特別研究Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ
		細胞機能構造科学特講Ⅱ	分析医科学演習Ⅱ				
		病態代謝学特講Ⅱ	細胞機能構造科学演習Ⅱ				
		臨床免疫学特講Ⅱ	病態代謝学演習Ⅱ				
		病態解析学特別研究Ⅱ	臨床免疫学演習Ⅱ				
創造性	伝統的な思考や方法を真摯に学ぶとともに、これらの知識を批判的に継承し、受け継いだ思考や方法の中に新たな課題を発見して創造的に解決できる能力	国際実践特講Ⅱ	保健学研究共通特講Ⅶ	病態解析学特別研究Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ
		サイエンティフィック・イングリッシュ特講Ⅱ	分析医科学演習Ⅱ				
		メディカルデータサイエンス特講Ⅱ	細胞機能構造科学演習Ⅱ				
		分析医科学特講Ⅱ	病態代謝学演習Ⅱ				
		細胞機能構造科学特講Ⅱ	臨床免疫学演習Ⅱ				
		病態代謝学特講Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ				
		臨床免疫学特講Ⅱ					
		病態解析学特別研究Ⅱ					
国際性	多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努め、優れたコミュニケーション能力を発揮できる。国際的に普遍的な価値を持つ知識・技術を自ら創造するとともに、各々の地域の状況に最も相応しい形で適用することができる能力	国際実践フィールドワークⅡ	国際実践フィールドワークⅡ	病態解析学特別研究Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ
		国際実践特講Ⅱ	Advanced practice in lifestyle related diseasesⅡ				
		サイエンティフィック・イングリッシュ特講Ⅱ	分析医科学演習Ⅱ				
		メディカルデータサイエンス特講Ⅱ	細胞機能構造科学演習Ⅱ				
		Advanced lectures in lifestyle related diseasesⅡ	病態代謝学演習Ⅱ				
		分析医科学特講Ⅱ	臨床免疫学演習Ⅱ				
		細胞機能構造科学特講Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ				
		病態代謝学特講Ⅱ					
臨床免疫学特講Ⅱ							
専門性	それぞれの職業や学問分野において指導的役割を担えるように、深い学識と高度で卓越した専門的能力を備え、さらに、専門保健福祉チームの一員として協働して働くことができる能力	保健学研究共通特講Ⅴ	保健学研究共通特講Ⅵ	病態解析学特別研究Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ
		保健学研究共通特講Ⅷ	保健学研究共通特講Ⅶ				
		国際実践特講Ⅱ	Advanced practice in lifestyle related diseasesⅡ				
		医療保健統計学・疫学特講Ⅱ	分析医科学演習Ⅱ				
		サイエンティフィック・イングリッシュ特講Ⅱ	細胞機能構造科学演習Ⅱ				
		メディカルデータサイエンス特講Ⅱ	病態代謝学演習Ⅱ				
		Advanced lectures in lifestyle related diseasesⅡ					
		分析医科学特講Ⅱ	臨床免疫学演習Ⅱ				
		細胞機能構造科学特講Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ				
		病態代謝学特講Ⅱ					
		臨床免疫学特講Ⅱ					
		病態解析学特別研究Ⅱ					

カリキュラム・ポリシー

保健学研究科博士課程後期課程 リハビリテーション科学領域

保健学研究科では、本研究科のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のとおり体系的な教育課程の編成を行っている。

部局DPにおける学習目標		1年次		2年次		3年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
人間性	豊かな教養と高い倫理性を身につけ、知性、理性及び感性が調和し、人々の健康を守るために率先して行動できる能力	保健学研究共通特講Ⅴ	保健学研究共通特講Ⅶ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ
		リハビリテーション科学研究法特講Ⅱ	リハビリテーション科学研究法演習Ⅱ				
創造性	伝統的な思考や方法を真摯に学ぶとともに、これらの知識を批判的に継承し、受け継いだ思考や方法の中に新たな課題を発見して独自の・創造的に解決できる能力	サイエンティフィック・イングリッシュ特講Ⅱ	生体構造・機能解析学演習Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ
		メディカルデータサイエンス特講Ⅱ	運動機能障害リハビリテーション学演習Ⅱ				
		生体構造・機能解析学特講Ⅱ	脳機能障害リハビリテーション学演習Ⅱ				
		運動機能障害リハビリテーション学特講Ⅱ	精神障害リハビリテーション学演習Ⅱ				
		脳機能障害リハビリテーション学特講Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ				
		精神障害リハビリテーション学特講Ⅱ	保健学研究共通特講Ⅵ				
		リハビリテーション科学特別研究Ⅱ					
国際性	多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努め、優れたコミュニケーション能力を発揮し交流できる。国際的に普遍的な価値を持つ知識・技術を自ら創造するとともに、各々の地域の状況に最も相応しい形で提案・適用することができる能力	国際実践フィールドワークⅡ	国際実践フィールドワークⅡ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ
		国際実践特講Ⅱ	生体構造・機能解析学演習Ⅱ				
		サイエンティフィック・イングリッシュ特講Ⅱ	運動機能障害リハビリテーション学演習Ⅱ				
		メディカルデータサイエンス特講Ⅱ	脳機能障害リハビリテーション学演習Ⅱ				
		生体構造・機能解析学特講Ⅱ	精神障害リハビリテーション学演習Ⅱ				
		運動機能障害リハビリテーション学特講Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ				
		脳機能障害リハビリテーション学特講Ⅱ					
		精神障害リハビリテーション学特講Ⅱ					
リハビリテーション科学特別研究Ⅱ							
専門性	リハビリテーション科学において、これまでに修得した分析能力、問題解決能力、研究能力をさらに高度化し、創造的・開発的研究を通して、指導的役割を担えるように、深い学識と高度で卓越した専門的能力を備える。研究・教育・健康・地域医療を柱とする新しい総合保健医療を独創的かつ自立して創造・実践できる能力	保健学研究共通特講Ⅷ	国際実践特講Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ
		国際実践特講Ⅱ	保健学研究共通特講Ⅶ				
		医療保健統計学・疫学特講Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ				
		サイエンティフィック・イングリッシュ特講Ⅱ	生体構造・機能解析学演習Ⅱ				
		メディカルデータサイエンス特講Ⅱ	運動機能障害リハビリテーション学演習Ⅱ				
		リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	脳機能障害リハビリテーション学演習Ⅱ				
		生体構造・機能解析学特講Ⅱ	精神障害リハビリテーション学演習Ⅱ				
		運動機能障害リハビリテーション学特講Ⅱ	生命情報融合論Ⅱ				
		脳機能障害リハビリテーション学特講Ⅱ	医用画像情報科学特論Ⅱ				
		精神障害リハビリテーション学特講Ⅱ					
人間情報科学特論Ⅱ							

カリキュラム・ポリシー

保健学研究科博士課程後期課程 パブリックヘルス領域

保健学研究科では、本研究科のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のとおり体系的な教育課程の編成を行っている。

部局D Pにおける学習目標		1年次		2年次		3年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
人間性	論理的考察力と客観的判断力を持ち、他分野の人々と協働して地域の健康課題を解決する能力	地域保健実践学特講Ⅱ	保健学研究共通特講Ⅶ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ
		生活習慣病・予防治療学特講Ⅱ	地域実践活動特別演習Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ
		ヘルスプロモーション学特講Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ				
		地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ				
		国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健支援論演習Ⅱ				
		国際保健支援論特講Ⅱ	災害マネジメントⅡ論演習Ⅱ				
		災害マネジメントⅡ論特講Ⅱ	フィールドワーク演習Ⅱ				
		国際実践特講Ⅱ	国際保健研究方法論演習Ⅱ				
		人口学特講Ⅱ	障害者支援地域論演習Ⅱ				
		保健学共通特講Ⅴ	国際保健フィールドワーク特別研究Ⅱ				
	保健学共通特講Ⅷ						
	豊かな教養と高い倫理性を身につけた保健医療専門職者として自立し、指導できる能力	医療人類学特講Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ
		地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ
		国際保健学特別研究Ⅱ					
	国際保健活動の理念、国際保健活動の実施に必要なコミュニケーションおよびマネジメント能力	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ
国際保健支援論特講Ⅱ		国際保健支援論演習Ⅱ					
国際実践特講Ⅱ		国際保健研究方法論演習Ⅱ					
		国際保健フィールドワーク特別研究Ⅱ					
創造性	地域の潜在的な健康課題を新たに見出し、エビデンスとニーズに基づき、高い創造性を持って解決する能力	サイエンティフィック・イングリッシュ特講Ⅱ	保健学研究共通特講Ⅵ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ
		メディカルデータサイエンス特講Ⅱ	保健学研究共通特講Ⅶ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ
		国際実践特講Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ				
		ヘルスプロモーション学特講Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ				
		地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	病理病態学演習Ⅱ				
		国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健支援論演習Ⅱ				
		病理病態学特講Ⅱ	災害マネジメント論演習Ⅱ				
		国際保健支援論特講Ⅱ	フィールドワーク演習Ⅱ				
		災害マネジメント論特講Ⅱ	国際保健研究方法論特講Ⅱ				
		人口学特講Ⅱ	障害者支援地域論演習Ⅱ				
	研究・教育・地域保健を柱とする新しい総合保健医療を創造する能力	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ
		国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ
	高度な専門知識・技術を基盤にして、国際保健の現場における課題を見出し、高度で卓越した対応ができる能力	医療人類学特講Ⅱ	疫学特講Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ
		国際保健学特別研究Ⅱ					
		国際保健学特別研究Ⅱ					

部局D Pにおける学習目標		1年次		2年次		3年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
国際性	文化、思想、価値観の多様性を受容するとともに、多分野にまたがる地球的課題を解決する能力	サイエンティフィック・イングリッシュ特講Ⅱ	保健学研究共通特講Ⅶ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ
		メディカルデータサイエンス特講Ⅱ	国際実践フィールドワークⅡ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ
		国際実践フィールドワークⅡ	地域実践活動特別演習Ⅱ				
		国際実践特講Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ				
		ヘルスプロモーション学特講Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ				
		地域保健実践学特講Ⅱ	病理病態学演習Ⅱ				
		地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	国際保健支援論演習Ⅱ				
		国際保健学特別研究Ⅱ	災害マネジメントⅡ論演習Ⅱ				
		病理病態学特講Ⅱ	フィールドワークⅡ演習Ⅱ				
		国際保健支援論特講Ⅱ	国際保健研究方法論演習Ⅱ				
		災害マネジメントⅡ論特講Ⅱ	細菌学演習Ⅱ				
		国際実践特講Ⅱ	寄生虫学演習Ⅱ				
		感染症学特講Ⅱ	ウイルス学演習Ⅱ				
		医療人類学特講Ⅱ	障害者支援地域論演習Ⅱ				
			国際保健フィールドワークⅡ特別研究Ⅱ				
国際的な視野をもち、異文化の多様性を受容するとともに、世界各国における健康水準格差を把握し、その要因を解明する能力	医療人類学特講Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	
	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	
	国際保健学特別研究Ⅱ						
国際的な諸問題に積極的に取り組み、共同研究や活動を推進する能力	医療人類学特講Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	
	国際保健学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	
	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ						
専門性	科学的思考力と高い倫理観に根ざし、高度で卓越した地域保健及び国際保健の実践を展開できる能力	サイエンティフィック・イングリッシュ特講Ⅱ	保健学研究共通特講Ⅶ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ
		メディカルデータサイエンス特講Ⅱ	保健学研究共通特講Ⅵ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ
		国際実践特講Ⅱ	地域実践活動特別演習Ⅱ				
		医療保健統計学・疫学特講Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ				
		生活習慣病・予防治療学特講Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ				
		ヘルスプロモーション学特講Ⅱ	病理病態学演習Ⅱ				
		地域保健実践学特講Ⅱ	フィールドワークⅡ演習Ⅱ				
		地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	公衆衛生学演習Ⅱ				
		国際保健学特別研究Ⅱ	災害マネジメント論演習Ⅱ				
		病理病態学特講Ⅱ	細菌学演習Ⅱ				
		公衆衛生学特講Ⅱ	寄生虫学演習Ⅱ				
		災害マネジメントⅡ論特講Ⅱ	ウイルス学演習Ⅱ				
		感染症学特講Ⅱ	保健医療論演習Ⅱ				
		保健学共通特講Ⅴ	感染症論演習Ⅱ				
		保健学共通特講Ⅷ	障害者支援地域論演習Ⅱ				
		国際保健フィールドワークⅡ特別研究Ⅱ					
	地域保健学・国際保健学の学問体系の確立と発展に寄与し、学際的研究を積極的に推進する能力	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	環境保健学特講Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ
		国際保健学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ
			国際保健学特別研究Ⅱ				
	地域保健・国際保健に関する諸課題を科学的・理論的に分析し社会に発信する能力	人口学特講Ⅱ	疫学特講Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ
		地域保健・健康科学特別研究Ⅱ		国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ
国際保健学特別研究Ⅱ							
		地域保健・健康科学特別研究Ⅱ					
	国際保健学特別研究Ⅱ						